

2010 年 IEEE 東京支部 総会資料

2010 年 3 月 10 日
IEEE 東京支部
<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2010年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2010年3月10日(水) 14時00分～14時30分

場 所： 東京都千代田区一ツ橋2-1-1
如水会館 3階 松風の間

議 題：

第1号議案：2009年活動報告の件【以下、報告事項】

第2号議案：2009年会計報告の件

第3号議案：2010年活動計画の件

第4号議案：2010年予算の件

講 演 会

日 時： 2010年3月10日(水) 14時40分～15時40分

場 所： 同 上

講演者： 渡部 和 氏 (IEEE Life Fellow, 創価大学名誉教授)
(2010年IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award 受賞者)

演 題： 「良い理論、良い手法、良い道具
- 革新的な製品・システムの創造(設計)を支える鼎 - 」

新Fellow表彰式

日 時： 2010年3月10日(水) 15時50分～17時00分

場 所： 同 上

懇 親 会

日 時： 2010年3月10日(水) 17時00分～19時00分

場 所： 如水会館 3階 桜の間

2010年 IEEE 東京支部役員・理事

1. 役員

Chair	支部長	今井 秀樹	(中央大学)
Vice Chair	副支部長	川上 潤三	(日立)
Secretary	セクレタリ	花輪 誠	(日立)
Treasurer	トレジャラ	河野 隆二	(横浜国立大学)

2. 理事会メンバー

今井 秀樹	(中央大学)	末松 憲治	(三菱電機)
川上 潤三	(日立)	山中 直明	(慶應義塾大学)
花輪 誠	(日立)	田中 一弘	(富士通研)
河野 隆二	(横浜国立大学)	南 隆敏	(富士通研)
宮本 恭幸	(東京工業大学)	西原 明法	(東京工業大学)
井上 宏明	(日本オブネクト)	青木 利晴	(NTT データ)
田中 秀郎	(ビスキャス)	菅原 勉	(東芝)
黒澤 馨	(茨城大学)	橋本 秀紀	(東京大学)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	宮本 恭幸 (東京工業大学)	須原 理彦 (首都大学東京)	金澤 徹 (東京工業大学)
Fellow Nominations	井上 宏明 (日本オブネクト)	小山 二三夫 (東京工業大学)	佐川 みすず (日立)
Membership Development	田中 秀郎 (ビスキャス)	大崎 博之 (東京大学)	平澤 隆行 (ビスキャス)
Nominations	黒澤 馨 (茨城大学)	荒井 滋久 (東京工業大学)	松本 隆太郎 (東京工業大学)
Technical Program	末松 憲治 (三菱電機)	高村 誠之 (NTT)	檜枝 護重 (三菱電機)
Publications	川上 潤三 (日立)	花輪 誠 (日立)	福田 宏 (日立)
Student Activities	山中 直明 (慶応大学)	伊丹 誠 (東京理科大学)	大野 光平 (東京理科大学)

2009年IEEE東京支部活動報告

1. 支部総会

2009年4月13日(月)、午後2時から弘済会館4階 蘭において開催した。
総会に引き続き、2009年新Fellowの表彰式を行った。

2. 支部理事会

第1回 4月13日(月)弘済会館

出席者 17名

- ・ 2008年第4回・臨時理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2008年決算報告及び監査報告
- ・ 2009年活動計画(審議)
- ・ 2009年予算(審議)
- ・ 2009年総会資料(審議)
- ・ 支部推薦2010年Fellow候補者(審議)
- ・ 委員会活動報告
- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ Region 10 Meeting 参加報告
- ・ IEEE125周年記念式典準備状況報告

第2回 6月23日(火)丸の内センタービル

出席者 12名

- ・ 2009年第1回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 会計進捗状況報告
- ・ 委員会活動計画・活動状況報告
- ・ 支部提案IEEE Milestone 進捗状況報告
- ・ IEEE125周年記念セレモニー準備状況報告

第3回 9月15日(火)丸の内センタービル

出席者 14名

- ・ 2009年第2回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2009年8月末会計報告
- ・ 2009年第2回Japan Council 理事会報告
- ・ 委員会活動計画・活動状況報告
- ・ IEEE Milestone プラーク贈呈式準備状況報告
- ・ IEEE 125周年記念セレモニー準備状況報告
- ・ Life Member Affinity Group への対応(報告)
- ・ IEEE President-Elect 選挙投票率向上への対応(報告)
- ・ 会員アップグレード促進への対応(報告)

(総会 - 第1号議案 資料)

第4回 11月27日(金)丸の内センタービル 出席者 16名

- ・ 2009年第3回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2009年活動報告および2010年活動計画案(審議)
- ・ 2009年決算予想および2010年予算案(審議)
- ・ 委員会活動報告および2010年活動計画案(審議)
- ・ Tokyo GOLD活動状況および2010年活動計画案報告
- ・ IEEE 125周年記念セレモニー報告
- ・ IEEE 東京支部 Milestone 贈呈式報告
- ・ IEEE-JC History Committee 報告
- ・ Life Member Affinity Group への対応(報告)

3. 支部主催講演会

(1) 4月13日(月)弘済会館4階 蘭 参加者 43名

『「中央研究所の時代の終焉？」その後何が来ているのか』

浅井 彰二郎 氏(株式会社リガク 取締役副社長、2009年 IEEE Frederik Philips Award 受賞)

(2) 10月13日(火)東京工業大学 百年記念館 フェライト会議室 参加者 120名

1. 『大学の発明と IEEE マイルストーン』

伊賀 健一 氏(東京工業大学 学長)

2. 『大学発ベンチャーについて』

柳 孝 氏(文部科学省 研究環境・産業連携課長)

3. 『フェライトの学術的発見について』

山崎 陽太郎 氏(東京工業大学 教授)

4. 『フェライトの産業化と発展について』

岡本 明 氏(TDK歴史館 顧問)

(3) 10月23日(金)早稲田大学 西早稲田キャンパス 参加者 74名

テクニカルセミナー

『Future of Information & Telecommunications Technologies(情報通信技術の将来)』

(4) 10月23日(金)LEVEL XXI スタールーム 参加者 200名

IEEE125周年記念講演会 『Challenging the Unknown』

1. 白井 暁彦 氏(日本科学未来館 科学コミュニケーター)

2. 毛利 衛 氏(日本科学未来館 館長)

(5) 11月19日(木)アルカディア市ヶ谷(私学会館) 7階 妙高 参加者 25名

『Television- The Life Story of a Technology』

Ph.D. Alexander B. Magoun (IEEE History Committee Milestone Coordinator)

(6) 11月23日(月)日立日航ホテル

参加者 100名

1. 『茨城衛星通信センターと日本の国際衛星通信のあゆみ』

伊藤 泰彦 氏(工学博士、株式会社 KDDI 研究所 代表取締役会長)

2. 『衛星通信用アンテナの技術的発展』

千葉 勇 氏(工学博士、三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 副所長)

3. 『1963年11月23日太平洋横断テレビ中継から衛星放送の発展へ』

永井 研二 氏(日本放送協会 専務理事・技師長)

4. 『The Rise of Satellite TV Transmission 』

Ph.D. Alexander B. Magoun (IEEE History Committee Milestone Coordinator)

4. その他の会合等

(1) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 4月13日 弘済会館4階 菊西

参加者：Award 受賞者、2009年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 40名

(2) 2009年 Region10 Meeting 2月28日~3月1日 Melia Hotel, Hanoi, Vietnam

参加者：本部関係者、Region10 関係者、Council / Section 代表 他 計 104名

日本からの参加者は以下の15名(敬称略)

(Society) 百武、(Guest) 大越、(R10) 南、中里、西原、福田、竹内、

(Section/Council) 末次、東野、長尾、堀口、岩下、佐藤、河野、花輪

(3) Ferrites Milestone 贈呈式 10月13日 東京工業大学 百年記念館フェライト会議室

参加者：IEEE 関係者/招待者、東京工業大学関係者/招待者、TDK 関係者/招待者、他 計 100名

(4) IEEE 本部 125周年記念式典 10月23日 LEVEL XXI

参加者：IEEE 関係者/招待者、Standards 関係者/招待者、丸善関係者/招待者 他 計 200名

(5) 茨城衛星通信センター Milestone 贈呈式 11月23日 茨城大学宇宙科学教育センター(旧 茨城衛星通信センター)

参加者：IEEE 関係者/招待者、KDDI 関係者/招待者、茨城大学関係者/招待者 他 計 100名

5. 常設委員会の活動

・ Fellow Nominations Committee

「2010年 IEEE フェロー候補者推薦のお願いと支部長エンドースメント発給に関するお知らせ」を電子メールにて東京支部会員宛、JC Chapter Chair 宛、Fellow 宛に東京支部事務局より発信した。

(総会 - 第1号議案 資料)

- Technical Program Committee
上記3項に示す講演会を企画実行した。

- Membership Development Committee
Senior member 数増大のため、Fellow 候補推薦依頼のメールに、併せて Senior member への昇格申請を関係者に奨励していただく依頼を加えた案内を東京支部事務局より発信した。

- Publications Committee
会員への情報サービスとして、“IEEE Tokyo Bulletin” を発行し、東京支部の全会員にメール配信すると共に、支部のホームページに掲載した。

- Student Activities Committee
 - (1) IEEE Tokyo Tech Student Paper Contest への支援
 - (2) Reg.10 Student Congress (シンガポール) への派遣の支援
 - (3) Keio University Ph.D. Student Paper Contest への支援
 - (4) Tokyo GOLD Career up Workshop への支援
 - 第1回：6月20日 工学院大学にて開催
 - 第2回：11月28日 東京電機大学神田キャンパスにて開催
 - (5) The 6th IEEE Tokyo Young Researcher’s Workshopへの援助
12月5日東京工業大学大岡山キャンパスにて実施(幹事校：東京工業大学)
 - (6) IEEE Seoul 主催の学生英語発表コンテストへ学生と東京支部役員を派遣
IEEE Seoul 主催 IEEE Tokyo, IEEE JC, IEEE Beijing から参加
 - (7) 東京理科大学 Student Branch が9月16日に設立

6. Tokyo GOLDの活動

- (1) Hong Kong GOLD delegate との交流 3月24日開催
- (2) 第1回 Tokyo GOLD 役員会 5月21日開催
- (3) 第1回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ 6月20日開催
- (4) 第2回 Tokyo GOLD 役員会 8月19日開催
- (5) IEEE 125周年記念行事 エッセイコンテスト表彰 10月23日開催
- (6) 第1回 Tokyo GOLD 総会 10月24日開催
- (7) 第2回学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ 11月28日開催
- (8) The 6th IEEE Tokyo Young Researchers Workshop への協力 12月6日開催

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	294	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	268	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	556	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	365	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	513	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	319	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	154	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	400	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	257	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	173	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	213	1.62	4	513	761	9,804	723	1,541
2009	13,674	328	2.46	4	515	761	10,054	696	1,644

IEEE東京支部2009年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	決 算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	16,284,000	16,668,744	102	予算は US\$1 = ¥92を適用
・支部リポート	2,668,000	2,729,771	102	\$29,507.85@¥92.51=¥27,29,771 (2009/7/22相場)
・Section Assessment	13,616,000	13,705,741	101	前期：\$137,782.25@¥97.63=¥13,451,681 (5/7) 後期：\$2,850.97@¥89.64=¥254,060 (10/20)
・その他	-	233,232	-	Milestone銘板立替分
◆雑収入	40,000	36,325	91	受取利息
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	16,324,000	16,705,069	102	
支出の部				
◆Councilへの拠出金	13,616,000	13,705,741	101	前期：\$137,782.25@¥97.63=¥13,451,681 後期：\$2,850.97@¥89.64=¥254,060
◆会合費	1,600,000	1,100,942	69	
・総会費	700,000	695,361	99	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	500,000	147,541	30	Magoun氏講演会/懇親会費を含む
・理事会費	100,000	22,220	22	資料送付等
・その他会合費	300,000	235,820	79	本部VIP対応、Milestone贈呈式
◆Committee活動費	300,000	80,440	27	Tokyo GOLD支援費/H P制作費
◆Student Branch支援費	1,000,000	804,322	80	
◆事務局設備費	300,000	27,600	9	事務局パソコンディスプレイ
◆ITサービス運用費	1,000,000	856,800	86	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	40,000	17,039	43	Internet通信費等
◆支払手数料等	350,000	283,339	81	前年度監査費用、銀行手数料等
◆予備費	-	(64,757)	-	
支出合計	18,206,000	16,811,466	92	
収支	-1,882,000	-106,397	6	
◆前年度繰越金	9,729,781	9,729,781	100	
◆次期繰越金	7,847,781	9,623,384	123	

財産目録

科 目	2009年12月31日	2008年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	9,603,384	9,709,781
○定期預金	16,698,001	16,698,001
◇現金・預金合計	26,321,385	26,427,782
◇その他流動資産		136,560
流動資産合計 :	26,321,385	26,564,342
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品	3,853,815	3,853,815
◇減価償却累計額	(3,775,450)	(3,775,450)
固定資産合計 :	223,965	223,965
資産合計 :	26,545,350	26,788,307
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債	322,350	163,872
2. 固定負債	0	0
負債合計 :	322,350	163,872
3. 正味財産	26,223,000	26,624,435
負債および正味財産合計 :	26,545,350	26,788,307
Statement of Activities		
I. 収益の部		
◇支部リポート	2,729,771	3,171,705
◇Section Assessment	13,705,741	15,318,446
◇その他(Milestone銘板代立替分)	233,232	107,808
◇受取利息	36,325	55,387
◇Section Congress支援費		136,560
◇雑収入		
収益合計 :	16,705,069	18,789,906
II. 費用の部		
◇会合費	1,100,942	1,609,731
◇Publication Expenses		
◇Student Branch支援費	804,322	1,099,801
◇Japan Councilへの拠出金	13,705,741	15,318,446
◇事務局費および一般管理費	1,184,778	1,337,415
◇予備費(Milestone/Section Congress)	-64,757	529,033
◇Milestone Plaque費用	322,350	163,872
◇減価償却費	78,365	94,038
費用合計 :	17,131,741	20,152,336
正味財産増減額	(426,672)	(1,362,430)
期首正味財産	26,624,435	27,986,865
期末正味財産	26,197,763	26,624,435
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
◇支部リポート	2,729,771	3,171,705
◇Section Assessment	13,705,741	15,318,446
◇予備費(Milestone/Section Congress)	233,232	107,808
◇受取利息	36,325	55,387
◇雑収入		
収入合計 :	16,705,069	18,653,346
II. 支出の部		
◇会合費	1,100,942	1,609,731
◇Publication Expenses	0	0
◇Student Branch支援費	804,322	1,099,801
◇Japan Councilへの拠出金	13,705,741	15,318,446
◇事務局費および一般管理費	1,184,778	1,337,415
◇設備備品		
◇予備費(Milestone/Section Congress)	-64,757	529,033
◇固定資産等購入		
支出合計 :	16,731,026	19,894,426
現金・預金増減額	(25,957)	(1,241,080)
期首現金・預金残高	26,427,782	27,668,862
期末現金・預金残高	26,401,825	26,427,782

IEEE日本カウンスル2009年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1~12/31)	決 算 (1/1~12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	955,420	922,982	97	
・Chapter Rebate	955,420	899,197	94	US\$9,720.00@¥92.51
・R10からの受取金			-	
・Society などからの受取金		23,785	-	WIE JCに代わって換金
◆各支部よりの拠出金	20,240,000	23,383,175	116	US\$239,540.36平均@¥95.61
・札幌支部		362,388		前期分US\$3,726.84 @¥97.64(手数料¥1500) (後期分：次年度の前期に請求。)
・仙台支部		1,044,115		前期分：US\$10,317.40 @¥98.34 (後期分：次年度の前期に請求。)
・信越支部		405,038		前期分：US\$4,174.32 @¥97.63 手数料2500 (後期分：次年度の前期に請求。)
・東京支部		13,451,681		前期分：US\$137,782.25 @¥97.63 後期分：US\$2,850.97 @¥89.64
・名古屋支部		1,904,061		前期分：US\$19,516.20 @¥97.64 手数料1500 (後期分：次年度の前期に請求。)
・関西支部		3,578,303		前期分：US\$36,387.06 @¥98.34 後期分：US\$656.97 @¥89.64
・広島支部		784,159		前期分：US\$8,031.13 @¥97.64 (後期分：次年度の前期に請求。)
・四国支部		326,176		前期分：US\$3,645.31 @¥89.89 (後期分：次年度の前期に請求。)
・福岡支部		1,215,804		前期分：US\$12,451.91 @¥97.64 (後期分：次年度の前期に請求。)
◆雑収入	30,000	19,666	66	受取利息等
合 計	21,225,420	24,325,823	115	
支出の部				
◆事務局費	13,750,000	14,031,483	102	
・給料諸給	4,500,000	6,027,774	134	交通費/労働保険/所得税を含む(9月から2名分に変更)
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	2,300,000	2,162,776	94	
・事務所設備費用	200,000	357,085	179	IT環境整備費など、ノートPC新規購入
・通信費	200,000	168,744	84	電話回線使用料、切手など
・交通費	100,000	3,630	4	
・事務用品費	150,000	119,798	80	
・事務機器レンタル費	1,000,000	808,722	81	コピー機・ファックス機/コピー機使用料等
・支払手数料等	5,300,000	4,382,954	83	銀行手数料/会計監査費用/派遣社員費用(10月以降無し)など
◆会合費	3,000,000	2,319,830	77	
・理事会・各委員会費	2,500,000	2,311,514	92	参加旅費を含む、名古屋支部との交流費
・その他会合費	500,000	8,316	2	
◆Section支援費	2,000,000	2,766,328	138	仙台、信越、広島、四国、福岡、名古屋、関西各支部
◆Chapter支援費	7,455,420	6,466,521	87	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	1,718,556	86	SBLW(東京都市大学開催、参加旅費など)
◆WIE支援費	500,000	386,525	77	
◆予備費	-	0	-	
◆125周年関連費用	500,000	117,736	24	
合 計	29,205,420	27,806,979	95	
収 支	-7,980,000	-3,481,156	-	
◆前年度繰越金	23,221,207	23,221,207	100	
◆次年度繰越金	15,241,207	19,740,051	130	

2010年 活動計画

1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の **Secretary** および **Treasurer** は **Japan Council** の同役職を兼務しており、それぞれの役割において **Council** の活動支援を推進する。

2. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002年10月に調印を行ったボストン支部、2006年6月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008年・2009年のソウルでの学生英語論文コンテストに引き続き、交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画中である。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

3. 委員会活動

3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学(2009年9月16日設立)の8校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学があり(全国合計21校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、**Region 10** 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、**Membership Development Committee** の活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。また、高グレード会員(**Fellow** + **Senior Member**)の比率が、全体平均より低水準にあることを踏まえて、**Senior Member** の増強に向けた施策を検討する。さらに、支部独自の表彰制度の新設について検討を行う。

3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2009 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

3-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005 年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

3-6. 若手会員および Life 会員向け活動の活性化

2008 年 11 月に設置された Tokyo GOLD Affinity Group を中心に、学部卒業後 10 年間の GOLD (Graduate of Last Decade) Member 向けの活動を活性化させる。Life 会員自身の活動を支援するための施策 (Affinity Group の設立など)を検討する。

4. 本部および Region 10 との連携強化

本部役員の訪日があれば、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

Region 10 行事の東京地区開催誘致の可能性を検討する。

Region 10 Award への東京支部からの推薦を活性化するための施策を検討する。

以上

IEEE東京支部2010年予算

単位：日本円

	予算 (1/1～ 12/31)	備考
収入の部		
◆ IEEE 本部勘定	14,238,000	US\$1=¥89を適用(2009年11月12日現在) 予算は-5円の84円で計算
・ 支部リベート	2,478,000	US\$29500 (Gross) を想定
・ Section Assessment	11,760,000	US\$140000 (Gross) を想定
◆ 雑収入	40,000	受取利息等
収入合計	14,278,000	
支出の部		
◆ Councilへの拠出金	11,760,000	Section Assessment全額
◆ 会合費	1,600,000	
・ 総会費	700,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・ 講演会費	500,000	会場費、謝礼金を含む
・ 理事会費	100,000	
・ その他会合費	300,000	
◆ Committee活動費	100,000	Tokyo Bulletin発行/HP制作費/MDC活動費
◆ Tokyo GOLD活動費	200,000	
◆ Student Branch支援費	1,000,000	
◆ 事務局設備費	300,000	ファシリティの新規購入、ソフト更新費用など
◆ ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆ 通信費	40,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆ 支払手数料等	350,000	前年度監査費用、銀行手数料等
◆ 予備費	500,000	2009年Milestone Plaque代
支出合計	16,850,000	
収支	-2,572,000	
◆ 前年度繰越金	9,623,384	
◆ 次期繰越金	7,051,384	

2010年新Fellows Citaion

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	荒井 滋久 Arai, Shigehisa	東京工業大学	<i>for contributions to single-mode semiconductor lasers for optical communications</i>
2	東京	千葉 勇 Chiba, Isamu	三菱電機	<i>for leadership in high precision phased array antenna systems with digital signal processing</i>
3	東京	堀口 真志 Horiguchi, Masashi	ルネサステクノロジ	<i>for contributions to circuit technologies for high-density low-power memories</i>
4	東京	唐沢 好男 Karasawa, Yoshio	電気通信大学	<i>for contributions to the measurement and modeling of propagation effects in radio communication systems</i>
5	東京	國分 泰雄 Kokubun, Yasuo	横浜国立大学	<i>for contributions to integrated photonic devices</i>
6	東京	岡野 文男 Okano, Fumio	日本放送協会	<i>for contributions to high resolution three-dimensional television</i>
7	東京	竹中 正 Takenaka, Tadashi	東京理科大学	<i>for research on properties and applications of lead-free piezoelectrics and ferroelectric ceramics</i>
8	東京	山崎 舜平 Yamazaki, Shunpei	半導体エネルギー研究所	<i>for contributions to, and leadership in the industrialization of non-volatile memory and thin film transistor technologies</i>
9	東京	吉國 裕三 Yoshikuni, Yuzo	北里大学	<i>for contributions to semiconductor lasers and integrated optical devices</i>

他支部所属 2010年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	安元 清俊 Yasumoto, Kiyotoshi	九州大学	<i>for contributions to electromagnetic wave scattering and wave guiding</i>
2	広島	吉川 公麿 Kikkawa, Takamaro	広島大学	<i>for contributions o interconnect technologies for integrated circuits</i>
3	関西	有本 和民 Arimoto, Kazutami	ルネサステクノロジ	<i>for development of high-destiny dynamic random access memory and embedded memory</i>
4	関西	浜 広幸 Hama, Hiroyuki	三菱電機	<i>for contributions to compact and reliable high-voltage equipment</i>
5	関西	畑 豊 Hata, Yutaka	兵庫大学	<i>for contributions to fuzzy logic based image processing in biomedical informatics</i>
6	関西	大村 泰久 Ohmura, Yasuhisa	関西大学	<i>for contributions of silicon on insulator devices technology, analysis, and modeling</i>
7	関西	寺西 信一 Teranishi, Nobukazu	パナソニック	<i>for contribution to the development of charge-coupled device image sensors</i>
8	名古屋	松本 正 Matsumoto, Tadashi	北陸先端科学技術 大学院大学	<i>for contributions to signal processing for wireless communications</i>
9	名古屋	山田 実 Yamada, Minoru	金沢大学	<i>for contribution to semiconductor laser theory and development of low-noise semiconductor lasers for disc applicaions</i>
10	仙台	櫛引 淳一 Kushibiki Jun-ichi	東北大学	<i>for contributions to ultrasonic metrology and acoustic microscopy</i>
11	仙台	佐藤 源之 Sato, Motoyuki	東北大学	<i>for contributions to radar remote sensing technologies in environmental and humanitarian applications</i>

2010年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award	古井 貞熙 (東京工業大学)	<i>For contributions to and leadership in the field of speech and speaker recognition towards natural communication between humans and machines.</i>
2	IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award	渡部 和 (創価大学)	<i>For pioneering contributions to filter design theory and computer-aided circuit design.</i>
3	IEEE William E. Newell Power Electronics Award	中川 明夫 (東芝)	<i>For development of non-latch-up IGBTs.</i>
4	IEEE Daniel E. Noble Award	阿部 眞一 (トヨタ自動車)	<i>For pioneering contributions to the development and market penetration of hybrid electric vehicles (HEVs) through the establishment of innovative architectures and control technologies.</i>
		佐々木 正一 (慶応義塾大)	
		八重樫 武久 (Cordia Corporation, Ltd.)	
5	IEEE Robotics and Automation Award	福田 敏男 (名古屋大学)	<i>For leadership and pioneering contributions to Intelligent Robotic Systems and Micro and Nano Robotic Systems.</i>
6	IEEE Frank Rosenblatt Award	菅野 道夫 (同志社大学)	<i>For contributions to development and applications to the theory of fuzzy sets.</i>
7	IEEE Donald O. Pederson Award in Solid-State Circuits	桜井 貴康 (東京大学)	<i>For pioneering contributions to the design and modeling of high-speed and low-power CMOS logic circuits.</i>
8	Ernst Weber Engineering Leadership Recognition	大林 秀仁 (日立ハイテクノロ ジーズ)	<i>For outstanding engineering and managerial leadership in the field of scanning electron microscopy, including the creation and development of critical dimension SEMs for VLSI manufacturing.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Promotion
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.

3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.

2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

事務局連絡先

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 6 番 2 号 西新橋企画ビル 8 階

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org